

# りそな つみたてグローバル株式 アクティブファンド

旧名称:グローバル厳選株式ファンド  
追加型投信/内外/株式

## 交付運用報告書

第4期(決算日2023年8月21日)

作成対象期間(2022年8月23日~2023年8月21日)

第4期末(2023年8月21日)	
基準価額	20,751円
純資産総額	161百万円
第4期	
騰落率	12.7%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「りそな つみたてグローバル株式アクティブファンド」は、このたび、第4期の決算を行いました。

当ファンドは、RMグローバル厳選株式マザーファンドを通じて、日本を含む先進国および新興国の株式への投資を行い、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号:0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時~午後5時)

ホームページ: <https://www.resona-am.co.jp/>

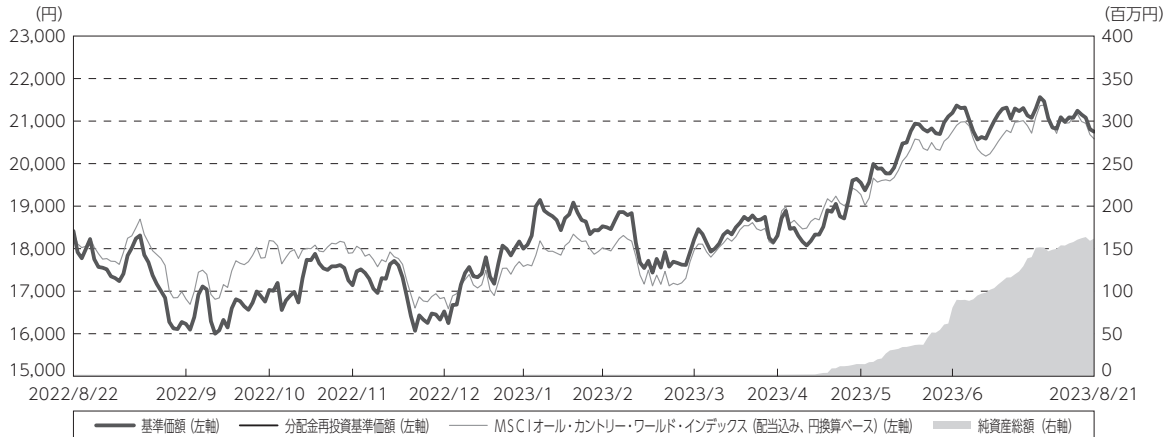


見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2022年8月23日～2023年8月21日)



期 首：18,416円

期 末：20,751円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：12.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、期首(2022年8月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。
- (注) MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む先進国および新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

米国ではインフレ鈍化の動きに加え、景気後退が軽微なものにとどまるとの見方が広がったことで、グローバル株式市場は上昇し、当ファンドの基準価額も上昇しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2022年8月23日～2023年8月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	191 ( 92 ) ( 92 ) ( 6 )	1.042 (0.505) (0.505) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	31 ( 31 )	0.167 (0.167)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	16 ( 16 )	0.086 (0.086)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	8 ( 7 ) ( 2 ) ( 0 )	0.046 (0.037) (0.009) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	246	1.341	
期中の平均基準価額は、18,297円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

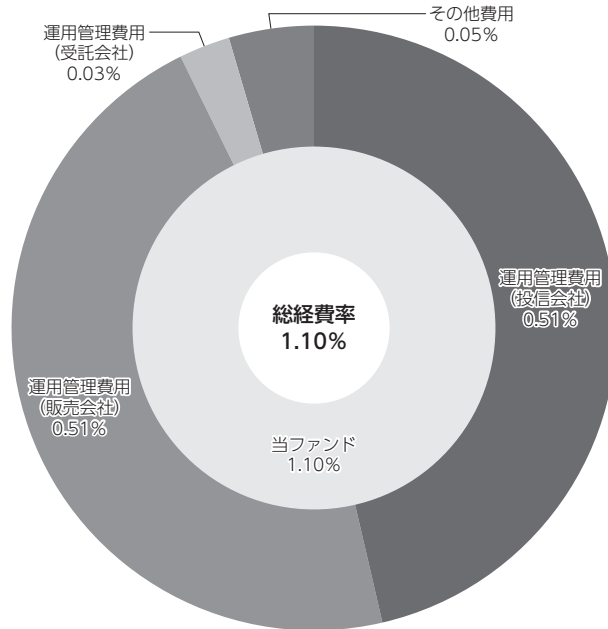
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものをみます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.10%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

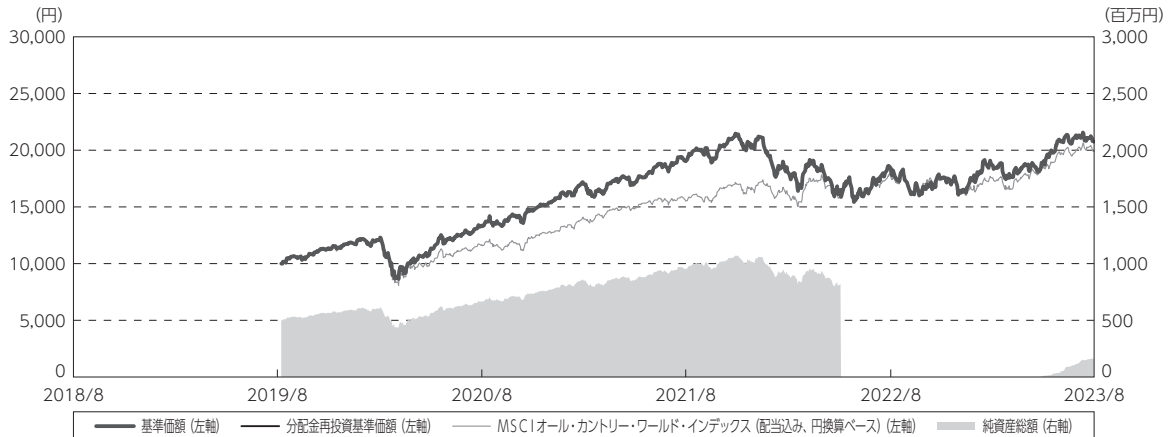
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年8月20日～2023年8月21日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2019年8月28日です。

	2019年8月28日 設定日	2020年8月20日 決算日	2021年8月20日 決算日	2022年8月22日 決算日	2023年8月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	13,356	19,021	18,416	20,751
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	33.6	42.4	△ 3.2	12.7
MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)騰落率 (%)	—	16.7	32.9	14.6	11.8
純資産総額 (百万円)	500	667	951	1	161

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年8月20日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。

参考指数は当ファンドの投資対象市場全般の動向を示す指標として参照するものであり、参考指数への連動または参考指数を上回る投資成果を運用目標とするものではありません。また参考指数を構成する国や地域、銘柄に投資対象を制限することを目的とするものでもありません。

**投資環境**

(2022年8月23日～2023年8月21日)

**グローバル株式市況**

グローバルの株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行（日本除く）による大幅利上げや物価高によるコスト増加懸念などから、企業業績の先行き不透明感が強まり、株式市場は不安定化する場面もみられました。2023年3月には、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧を中心に金融システム不安が強まり、株式市場では売り圧力が強まりました。その後、金融システム不安が小康状態入りし、主要国中央銀行（日本除く）による利上げの最終局面入りが意識されたことなどから買い安心感が広がり、株式市場は上昇基調となりましたが、期末にかけては下落しました。

**為替市況**

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、内外金利差拡大などを背景に円安米ドル高が急速に進行し、一時1米ドル＝151円を付ける場面もみられました。米国ではインフレ抑制を目指すF R B（米連邦準備制度理事会）による大幅利上げが急速に進められるなか、国内では日銀による大規模な金融緩和策を維持する姿勢が示されました。

ユーロに対して、E C B（欧州中央銀行）が利上げを急速なペースで進めるなか、一時1ユーロ＝159円台まで円安ユーロ高が進行しました。

新興国通貨は、ブラジルやメキシコなどの中南米諸国ではインフレ率に対して高利回りの政策金利となっていることから円・米ドルの双方に対して通貨高が進行しました。一方、トルコでは、金融政策の先行きに強い不透明感が残ることから、円・米ドルの双方に対して通貨安が大幅に進行しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2022年8月23日～2023年8月21日)

**当ファンド**

R Mグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

**R Mグローバル厳選株式マザーファンド**

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

**<プラス要因>****■ エヌビディア（米国）**

G P U（画像処理用半導体）の世界最大手企業です。コア技術であるG P Uにリソースを集中し、汎用性の高いG P Uプラットフォーム（G P Uが動作する基盤となる環境）を世の中に広く提供し、自社に有利なビジネス生態系を構築することで競合企業を圧倒してきました。直近の業績をけん引するのは

データセンターやゲーム向けGPUですが、将来的にはメタバース（ネット上に構築された仮想空間）やADAS（先進運転支援システム）での成長が期待されています。直近では生成AI（人工知能）の発展において同社GPUは欠かせないとの認識が広がったことから、株価は大きく上昇しました。

#### ■ キング・スライド・ワークス（台湾）

サーバー向けレールキットの世界大手企業です。技術力とコスト競争力に優位性を持ち、特にサーバーを手前に引く際のスムーズさや安定性は、同社が高い市場シェアを占める要因となっています。また、同社はキッチン向けレールキットも製造しており、加工難易度や装飾性、機能性の向上により、今後さらなる市場シェアの拡大と成長が期待されています。当期は、AI投資拡大への期待に加え、インテル(米国)の大規模投資による需要増加が見込まれたことから、株価は上昇しました。

#### <マイナス要因>

#### ■ SVBファイナンシャル・グループ（米国）

ハイテクおよびヘルスケア業界に特化した金融サービス企業です。スタートアップ企業や、スタートアップ企業に投資をするベンチャーキャピタルなどを主要顧客に持ち、シリコンバレーの発展とともに成長してきました。しかし、2023年3月に金利上昇を受けた投資債券の値下がりや顧客企業の資金調達悪化等で同社の財務健全性や資金繰りに対する市場の懸念が強まったことから、破綻リスクを考慮し売却しました。

#### ■ エムスリー（日本）

医療従事者向けの情報提供サイト「m3.com」の運営会社です。国内では90%超の医師が、また海外でも多数の医師が当サイトの会員となっています。医師との強い接点を活かして、薬剤を始めとする最新の医療情報を提供する「MR君」など多様なサービスを展開しています。医療現場における様々な非効率性の解消を収益として取り込むとともに、製薬企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）化のサポート役としての成長が期待されています。当期は顧客製薬企業の予算圧縮の動きなどが嫌気され株価は軟調に推移しましたが、中長期での成長性に対する見方に変化は無く、継続保有としています。

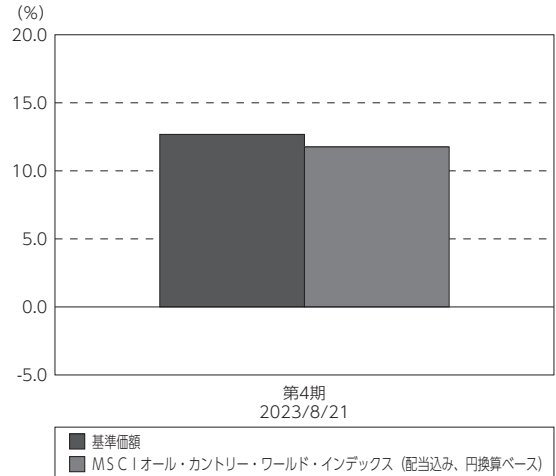
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年8月23日～2023年8月21日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

(2022年8月23日～2023年8月21日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第 4 期
	2022年8月23日～ 2023年8月21日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,750

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、RMグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

### RMグローバル厳選株式マザーファンド

米国ではインフレ鈍化の兆しがみられ、政策金利のピークアウト、景気のソフトランディングを意識する動きが目立つ一方で、これまでの金融引き締め長期化で2023年度後半には景気が急速に落ち込むとの見方も根強く残っています。そうしたなか、当ファンドでは国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選した投資を継続します。

地政学リスクを始めとした外部環境の変化を注視しながら、企業の現在および将来の競争力への影響を評価し、必要と判断すればポートフォリオの見直しを実施してまいります。

## お知らせ

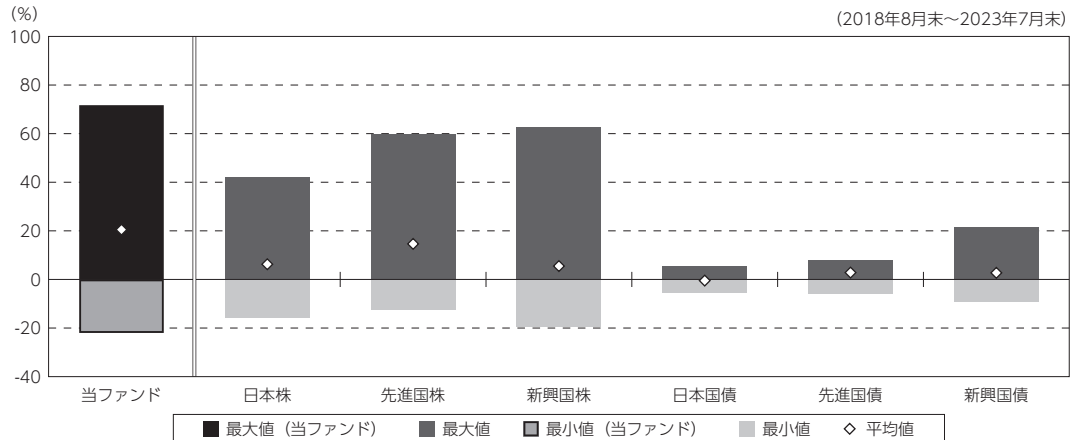
- ・ファンドの名称を変更するため約款に所要の変更を行いました。(2022年8月23日)
- ・購入時手数料を廃止するため約款に所要の変更を行いました。(2022年8月23日)
- ・信託報酬率の引き下げを行うため約款に所要の変更を行いました。(2022年8月23日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2019年8月28日から無期限です。	
運用方針	日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	りそな つみたてグローバル株式 アクティブファンド	・RMグローバル厳選株式マザーファンドの受益証券
	RMグローバル厳選株式 マザーファンド	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
運用方法	<p>①主として、マザーファンド受益証券への投資を通じ、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。</p> <p>*上場予定、店頭登録予定を含みます。</p> <p>*DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。</p> <p>②経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。</p> <p>③マザーファンド受益証券への投資比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>	
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	71.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 22.0	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	20.5	6.3	14.6	5.5	△ 0.5	2.8	2.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年8月から2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2020年8月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2023年8月21日現在)

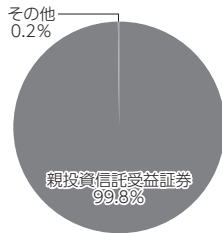
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
RMグローバル厳選株式マザーファンド	99.8%
組入銘柄数	1銘柄

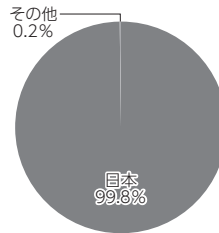
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

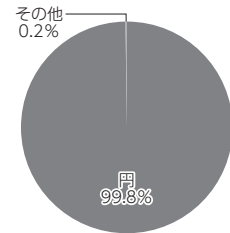
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

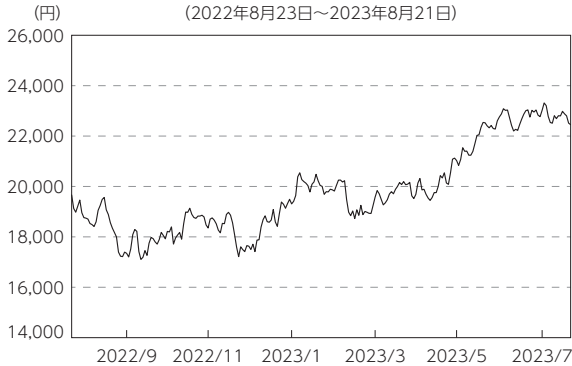
項目	第4期末
	2023年8月21日
純資産総額	161,877,317円
受益権総口数	78,010,317口
1万口当たり基準価額	20,751円

(注) 期中における追加設定元本額は81,789,733円、同解約元本額は4,779,416円です。

## 組入上位ファンドの概要

## RMグローバル厳選株式マザーファンド

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2022年8月23日～2023年8月21日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	35 (35)	0.181 (0.181)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	10 (10)	0.053 (0.053)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.031 (0.028) (0.002)
合 計	51	0.265

期中の平均基準価額は、19,646円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

## 【組入上位10銘柄】

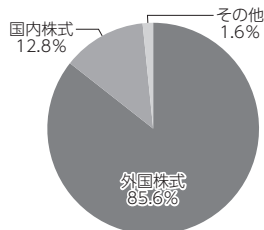
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 AXON ENTERPRISE INC	資本財	米ドル	アメリカ	3.9%
2 ALIGN TECHNOLOGY INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	3.6%
3 塩野義製薬	医薬品	円	日本	3.6%
4 AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	米ドル	アメリカ	3.6%
5 AMPHENOL CORP-CL A	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	3.5%
6 WALT DISNEY CO/THE	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	3.4%
7 SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	耐久消費財・アパレル	香港ドル	ケイマン諸島	3.4%
8 VISA INC-CLASS A SHARES	金融サービス	米ドル	アメリカ	3.4%
9 RATIONAL AG	資本財	ユーロ	ドイツ	3.4%
10 WISETECH GLOBAL LTD	ソフトウェア・サービス	オーストラリアドル	オーストラリア	3.4%
組入銘柄数		30銘柄		

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

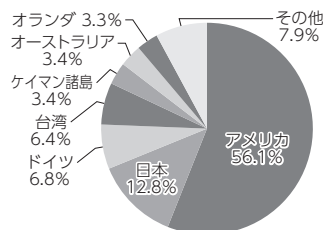
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

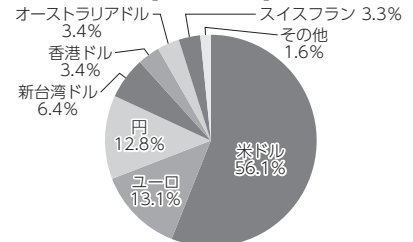
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年8月21日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

### ○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。